

市民公開講座の開催について

1. 企画概要

医療事故調査・支援センターが開設から10年の間に蓄積された情報より明らかとなった課題を基に、以下について広く国民に伝える機会とする。

- 国民（患者）の主体的な医療への参画の必要性・重要性
- 医療機関から受ける治療や経過の説明と同意（IC）の必要性と、患者・家族と医療者間の信頼関係構築の大切さ

2. 対象

一般市民

3. 告知広告

読売新聞 12/9～12/12 本社版、支社版含め全国へ告知
読売オンライン

4. 開催

- 1) テーマ：患者のみかた（見方/味方）～あなたにとって納得できる医療とは～
- 2) 主催：株式会社 NHK エンタープライズ NHK 文化センター
- 3) 共催：医療事故調査・支援センター（一般社団法人 日本医療安全調査機構）
- 4) 後援：日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、日本助産師会
- 5) 日時：2026年1月17日（土）14時～15時30分
- 6) 形式：ハイブリッド（会場、オンライン視聴、見逃し配信による視聴）
- 7) 場所：千代田放送会館
- 8) 参加者数：会場 定員 170名、ライブ配信 定員 500名
- 9) 登壇者：

司 会	三宅民夫：元 NHK アナウンサー・解説委員
登壇者	田中和美：群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学教授、 医学部附属病院医療の質・安全管理部 部長
	豊田郁子：イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院 医療安全対策室 医療安全対話推進者
	木村壯介：日本医療調査機構 常務理事
- 10) 構成：パネルディスカッション

※詳細 別添1

5. 開催後の広報

採録記事の広告展開

採録動画を機構ホームページへ掲載等、広告展開

市民公開講座 医療事故調査制度施行10年

患者の「見方」 「味方」みかた

～あなたにとって納得できる医療とは～



「患者のみかた」—そこには患者の“見方”と“味方”の2つの意味が込められています。“見方”とは、難しい医療用語や治療法などへの患者の向き合い方。そして“味方”とは、まさに医療者。患者と医療者とのパートナーシップをどう築いていくのか。医療事故調査制度10年という節目を迎えた今、フォーラムでは患者と家族が納得して受ける医療について考えていきます。

2026年 1月17日 土

開演：午後2時 終演予定：午後3時30分

会場 千代田放送会館

東京都千代田区紀尾井町1-1

アクセス

- ◎地下鉄赤坂見附駅（銀座線・丸ノ内線）D出口から徒歩約10分
 - ◎地下鉄永田町駅（半蔵門線・有楽町線・南北線）各出口から徒歩約2～8分
 - ◎地下鉄麴町駅（有楽町線）1番出口から徒歩約6分
- ※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

**参加
無料**

*要事前申し込み



参加形態

【会場観覧】か【ライブ配信】かをお選びいただけます。

参加は無料ですが事前のお申し込みが必要です。お申し込み方法など詳細はホームページをご覧ください。

<https://forum-kanjanomikata.com>



参加申し込み用
2次元コード

定員

【会場観覧】定員 **170名** 【ライブ配信】定員 **500名**

- ※先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。
- ※2026年1月13日(火)より会場観覧方法およびライブ配信視聴方法のご案内メールをお送りいたします。
- ※2026年1月15日(木)を過ぎてもメールが届かない場合は、下部の問い合わせ先までご連絡ください。
- ※2026年1月15日(木)以降にお申し込みいただいた方には、会場観覧方法およびライブ配信視聴方法のご案内メールを順次お送りいたします。
- ※個人情報は適切に管理し、本フォーラムに関する連絡のみに使用いたします。

パネリスト



田中 和美氏

群馬大学医学部
医療の質・安全学分野教授

パネリスト



豊田 郁子氏

イムスリハビリテーションセンター
東京葛飾病院 医療対話推進者

パネリスト



木村 壯介氏

一般社団法人
日本医療安全調査機構
常務理事

司会



三宅 民夫氏

元NHKエグゼクティブアナウンサー、
立命館大学 衣笠総合研究機構
客員研究員

■主催 株式会社NHKエンタープライズ NHK文化センター ■共催 医療事故調査・支援センター（一般社団法人 日本医療安全調査機構）
■後援 日本医師会 日本歯科医師会 日本薬剤師会 日本看護協会 日本助産師会 ■協力 読売新聞社